

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 九州財務局長

**【提出日】** 平成23年11月11日

**【四半期会計期間】** 第56期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 株式会社M i s u m i

**【英訳名】** MISUMI CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 岡 恒憲

**【本店の所在の場所】** 鹿児島県鹿児島市卸本町7番地20

**【電話番号】** 099(260)2200(代表)

**【事務連絡者氏名】** サポート本部長兼経理部長 末吉 茂樹

**【最寄りの連絡場所】** 鹿児島県鹿児島市卸本町7番地20

**【電話番号】** 099(260)2200(代表)

**【事務連絡者氏名】** サポート本部長兼経理部長 末吉 茂樹

**【縦覧に供する場所】** 証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第55期 第2四半期 連結累計期間		第56期 第2四半期 連結累計期間		第55期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		26,160,775		28,224,355		55,179,100
経常利益	(千円)		591,777		324,087		1,271,037
四半期(当期)純利益	(千円)		247,686		163,138		570,465
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		205,910		106,033		600,234
純資産額	(千円)		11,983,510		12,280,602		12,283,832
総資産額	(千円)		33,522,336		34,398,013		35,686,052
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		40.81		26.88		93.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		35.27		35.24		33.95
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,305,486		575,567		1,953,443
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		420,236		352,561		1,033,814
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		885,003		394,814		654,119
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		3,253,382		3,346,838		3,518,645

回次		第55期 第2四半期 連結会計期間		第56期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		20.72		21.21

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第55期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動が持ち直し、景気の回復傾向が見られるものの、原子力発電所問題、欧米の財政不安等に伴う円高の進行や株安などの影響により、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況の中で当社グループは、「CHANGE & DASH～新しい価値観で、速やかに行動する～」のスローガンのもと、従業員の意識改革を促すとともに、販売力の強化及び事業部門の整理・再構築に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は282億24百万円（前年同四半期比7.9%増）となりましたが、店舗新設等による費用増加により、経常利益は3億24百万円（前年同四半期比45.2%減）、四半期純利益は1億63百万円（前年同四半期比34.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、6月に第二卸団地SSを新設するとともに、セルフSSにおいてもTポイントサービスを開始するなど、他社との差別化を図ることで、新規顧客の開拓に努めました。ガス部門においては、LPガス等の増販の目的で、販売の空白地域であった水俣・芦北地区にガス事業所を4月に新設するとともに、熊本市内におけるLPガスの販売網の増強を図りました。

以上の結果、売上高は216億85百万円（前年同四半期比9.2%増）となり、営業利益は3億4百万円（前年同四半期比36.7%減）を計上致しました。

#### 2 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、KFC店舗の運営効率化やクラッシューズ（飲む冷たいスナック）導入を目的に5店舗の改装を実施致しました。

ミネラルウォーター部門においては、震災以降の需要増加に伴い、コールセンターの体制強化を図り、宅配部門を増強し、販売数量の確保と顧客の囲い込みに努めました。

以上の結果、売上高は28億69百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、営業利益は2億54百万円（前年同四半期比26.1%減）を計上致しました。

### 3 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、4月にブックスミスミ鹿屋店とT S U T A Y A鹿屋店を統合、移転拡張し、営業基盤の強化を図りました。また、オブシアミスミ（複合商業施設）において、より買い回りの良い売場づくりを目指すとともに、効果的な販促活動や季節催事の連続的な投入を行い、施設全体の魅力度アップに努めました。自動車部門においては、タイヤの消費材の上昇に伴うメーカーの値上げ等により、タイヤの販売が厳しい環境下にありました。

以上の結果、売上高は36億69百万円（前年同四半期比4.9%増）となり、営業利益は59百万円（前年同四半期比53.5%減）を計上致しました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて12億88百万円減少し、343億98百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて12億84百万円減少し、221億17百万円となりました。これは主に、買掛金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3百万円減少し、122億80百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の減少8億65百万円、減価償却費3億94百万円及び税金等調整前四半期純利益3億15百万円等の資金の増加があったものの、仕入債務の減少8億68百万円、法人税等の支払い1億62百万円、借入金の返済2億91百万円及び固定資産の取得2億40百万円等の資金の減少により前連結会計年度末に比べ1億71百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末は33億46百万円（前年同四半期末比2.9%増）となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、5億75百万円（前年同四半期比55.9%減）となりました。これは主に、仕入債務の減少8億68百万円及び法人税等の支払い1億62百万円等による資金の減少があったものの、売上債権の減少8億65百万円、減価償却費3億94百万円及び税金等調整前四半期純利益3億15百万円等の資金の増加によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、3億52百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。これは主に、固定資産の取得2億40百万円によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は、3億94百万円（前年同四半期比55.4%減）となりました。これは主に、借入金の返済2億91百万円によるものであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行 数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,100,503	同左	証券会員制法人 福 岡証券取引所	単元株式数は、100株であります。
計	6,100,503	同左		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		6,100,503		1,690,899		1,646,341

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
三角開発(株)	鹿児島県始良市蒲生町久末2489 - 1	1,471	24.12
J Xホールディングス(株)	東京都千代田区大手町2 - 6 - 3	779	12.78
住友生命保険(相)	東京都中央区築地7 - 18 - 24	332	5.44
三角 皓三郎	鹿児島市伊敷台	304	4.99
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1 - 1 - 2	301	4.95
(株)鹿児島銀行	鹿児島市金生町6 - 6	243	3.99
東洋ゴム工業(株)	大阪府大阪市西区江戸堀1 - 17 - 18	183	3.00
ミスミ取引先持株会	鹿児島市卸本町7 - 20	163	2.68
三角 征四郎	鹿児島市喜入瀬々串町	154	2.53
(株)福岡銀行	福岡市中央区天神2 - 13 - 1	141	2.33
計		4,075	66.81

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 30,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,069,400	60,694	
単元未満株式	普通株式 503		
発行済株式総数	6,100,503		
総株主の議決権		60,694	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式69株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株M i s u m i	鹿児島市卸本町7番地20	30,600		30,600	0.5
計		30,600		30,600	0.5

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,119,991	4,049,201
受取手形及び売掛金	5,194,243	4,319,081
有価証券	3,719	3,719
商品及び製品	2,514,765	2,549,111
その他	890,736	816,579
貸倒引当金	259,091	249,858
流動資産合計	12,464,364	11,487,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,607,575	4,501,702
土地	11,776,541	11,776,541
その他(純額)	1,460,657	1,029,313
有形固定資産合計	17,844,774	17,307,558
無形固定資産		
のれん	51,396	346,103
その他	101,554	100,075
無形固定資産合計	152,951	446,179
投資その他の資産		
その他	5,520,321	5,493,800
貸倒引当金	296,358	337,359
投資その他の資産合計	5,223,963	5,156,440
固定資産合計	23,221,688	22,910,178
資産合計	35,686,052	34,398,013
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,228,632	1,365,120
短期借入金	10,530,000	9,940,000
1年内返済予定の長期借入金	1,809,940	1,784,432
未払法人税等	376,700	177,518
賞与引当金	309,773	307,875
ポイント引当金	7,692	-
その他	1,671,239	1,656,031
流動負債合計	16,933,977	15,230,977
固定負債		
長期借入金	4,782,110	5,105,900
退職給付引当金	63,228	137,258
役員退職慰労引当金	718,100	722,900
その他	904,804	920,374
固定負債合計	6,468,242	6,886,434
負債合計	23,402,219	22,117,411

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	8,757,756	8,829,847
自己株式	43,403	43,403
株主資本合計	12,051,594	12,123,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,540	190
その他の包括利益累計額合計	62,540	190
少数株主持分	169,697	157,108
純資産合計	12,283,832	12,280,602
負債純資産合計	35,686,052	34,398,013

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	26,160,775	28,224,355
売上原価	20,423,855	22,373,551
売上総利益	5,736,919	5,850,803
販売費及び一般管理費	1 5,213,684	1 5,629,703
営業利益	523,234	221,099
営業外収益		
受取利息	13,430	10,803
受取配当金	19,956	24,296
受取賃貸料	77,491	73,792
その他	111,428	130,310
営業外収益合計	222,306	239,202
営業外費用		
支払利息	106,063	92,589
賃貸費用	35,664	34,427
その他	12,036	9,197
営業外費用合計	153,763	136,215
経常利益	591,777	324,087
特別利益		
固定資産売却益	2,514	3,572
受取保険金	1,443	386
特別利益合計	3,957	3,959
特別損失		
固定資産除却損	4,511	11,776
災害による損失	939	283
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80,923	-
特別損失合計	86,374	12,059
税金等調整前四半期純利益	509,360	315,987
法人税、住民税及び事業税	296,033	164,890
法人税等調整額	40,649	17,667
法人税等合計	255,383	147,222
少数株主損益調整前四半期純利益	253,977	168,764
少数株主利益	6,290	5,626
四半期純利益	247,686	163,138

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	253,977	168,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,067	62,731
その他の包括利益合計	48,067	62,731
四半期包括利益	205,910	106,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,619	100,406
少数株主に係る四半期包括利益	6,290	5,626

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	509,360	315,987
減価償却費	392,405	394,160
固定資産除却損	4,511	11,776
のれん償却額	15,281	44,412
貸倒引当金の増減額(は減少)	52,135	31,768
賞与引当金の増減額(は減少)	7,360	1,898
退職給付引当金の増減額(は減少)	24,474	74,030
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	75,400	4,800
ポイント引当金の増減額(は減少)	9,677	7,692
受取利息及び受取配当金	33,386	35,100
支払利息	106,063	92,589
為替差損益(は益)	6,127	4,671
固定資産売却損益(は益)	2,514	3,572
受取保険金	1,443	386
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80,923	-
売上債権の増減額(は増加)	722,454	865,746
たな卸資産の増減額(は増加)	57,263	16,152
仕入債務の増減額(は減少)	21,485	868,183
その他	41,690	54,992
小計	1,814,317	994,255
利息及び配当金の受取額	36,649	33,962
利息の支払額	103,983	90,875
保険金の受取額	1,443	386
法人税等の支払額	442,940	362,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,305,486	575,567
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	15,764	115,183
定期預金の払戻による収入	12,139	14,164
有価証券の取得による支出	2,758	2,758
有価証券の償還による収入	2,755	2,758
固定資産の取得による支出	430,761	240,683
固定資産の売却による収入	5,533	2,558
投資有価証券の取得による支出	12,202	12,442
子会社株式の取得による支出	2,320	14,503
差入保証金の差入による支出	7,379	39,730
差入保証金の回収による収入	8,725	47,408
貸付けによる支出	4,250	8,620
貸付金の回収による収入	14,792	16,532
その他	11,252	2,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	420,236	352,561
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,400,000	400,000
短期借入金の返済による支出	1,430,000	990,000
リース債務の返済による支出	5,781	8,759
長期借入れによる収入	600,000	1,402,000
長期借入金の返済による支出	1,346,716	1,103,717
配当金の支払額	99,260	91,091
少数株主への配当金の支払額	3,245	3,245
財務活動によるキャッシュ・フロー	885,003	394,814
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	245	171,807
現金及び現金同等物の期首残高	3,253,136	3,518,645

現金及び現金同等物の四半期末残高	3,253,382	3,346,838
------------------	-----------	-----------

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

記載すべき事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形割引高	6,983千円	7,070千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
貸倒引当金繰入額	52,135千円	31,768千円
給料及び手当	1,127,098 "	1,138,923 "
賞与引当金繰入額	295,856 "	306,943 "
役員退職慰労引当金繰入額	75,400 "	9,995 "
退職給付費用	110,162 "	157,820 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金	3,854,114千円	4,049,201千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金	600,731 "	702,363 "
現金及び現金同等物	3,253,382千円	3,346,838千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	103,187	17	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月5日 取締役会	普通株式	91,047	15	平成22年9月30日	平成22年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	91,047	15	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月8日 取締役会	普通株式	91,047	15	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	フード& ビバレッジ	ライフ スタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,860,586	2,800,611	3,499,578	26,160,775		26,160,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,713	12,350	70,491	112,555	112,555	
計	19,890,299	2,812,961	3,570,069	26,273,330	112,555	26,160,775
セグメント利益	481,280	344,577	129,103	954,962	431,727	523,234

(注) 1 セグメント利益の調整額 431,727千円には、セグメント間取引消去8,058千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 439,785千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	フード& ビバレッジ	ライフ スタイル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,685,529	2,869,490	3,669,335	28,224,355		28,224,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,927	12,666	88,233	131,827	131,827	
計	21,716,457	2,882,156	3,757,569	28,356,183	131,827	28,224,355
セグメント利益	304,640	254,655	59,976	619,272	398,172	221,099

(注) 1 セグメント利益の調整額 398,172千円には、セグメント間取引消去6,312千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 404,484千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	40円81銭	26円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	247,686	163,138
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	247,686	163,138
普通株式の期中平均株式数(株)	6,069,834	6,069,834

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第56期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間配当については、平成23年11月8日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	91,047千円
1株当たりの金額	15円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年12月5日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社M i s u m i

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 青 野 弘 印
--------------------	---------------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 工 藤 重 之 印
--------------------	-----------------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 西 元 浩 文 印
--------------------	-----------------

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社M i s u m i の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社M i s u m i 及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。